

京葉ガスの地震対策の取組みについて

2026年3月4日
京葉ガス株式会社
供給企画部 災害対策室

つぎの「うれしい!」へ。
KeiYO GAS

設備対策・緊急対策・復旧対策を組み合わせた災害対策

設備対策



被害を最小限に
地震に強いガス設備

緊急対策



二次被害の防止
体制構築・ブロック化

復旧対策



早期復旧
資材準備・連携協力

設備対策：地震に強い『伸びても曲がっても折れない』ガス管

ポリエチレン管

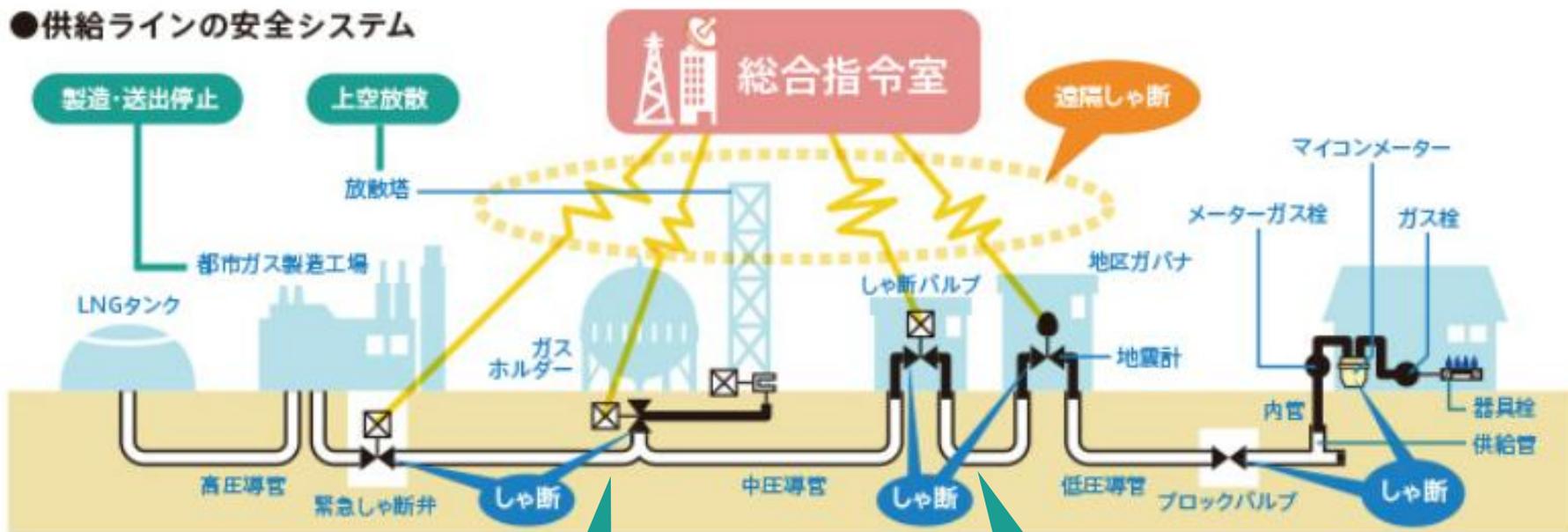


鋼管



設備対策：総合指令室から、ガス設備を遠隔しゃ断

●供給ラインの安全システム



ガスホルダー

球体は、高張力鋼を使用。杭を支持地盤まで打ち込んだ鉄筋コンクリート基礎の上に支柱と球体を設置して、大地震にも耐えられるよう設計・施工しています。



しゃ断バルブ

緊急時に遠隔しゃ断するための設備です。中圧導管の供給圧力・流量情報を防災供給センターへ送信します。



設備対策：安全にガスを止めるマイコンメーター



作動条件：震度5相当以上の揺れを感知すると安全装置が作動しガスをストップ



設置状況：家庭用の全てのお客さまに設置済み



復帰方法：地域のガス供給が停止していない場合、簡単な操作で復帰可能

緊急対策：緊急事態に備えて24時間365日の体制整備

体制の整備

24時間365日受付・
出動・監視体制を整備

非常体制の構築

震度5以上で社員が
参集し非常体制を構築

総合指令室



対策本部設置



緊急対策：ガス導管網のブロック化



Lブロック

中圧導管網を3ブロックに分割。
広域災害時等に利用。

Mブロック

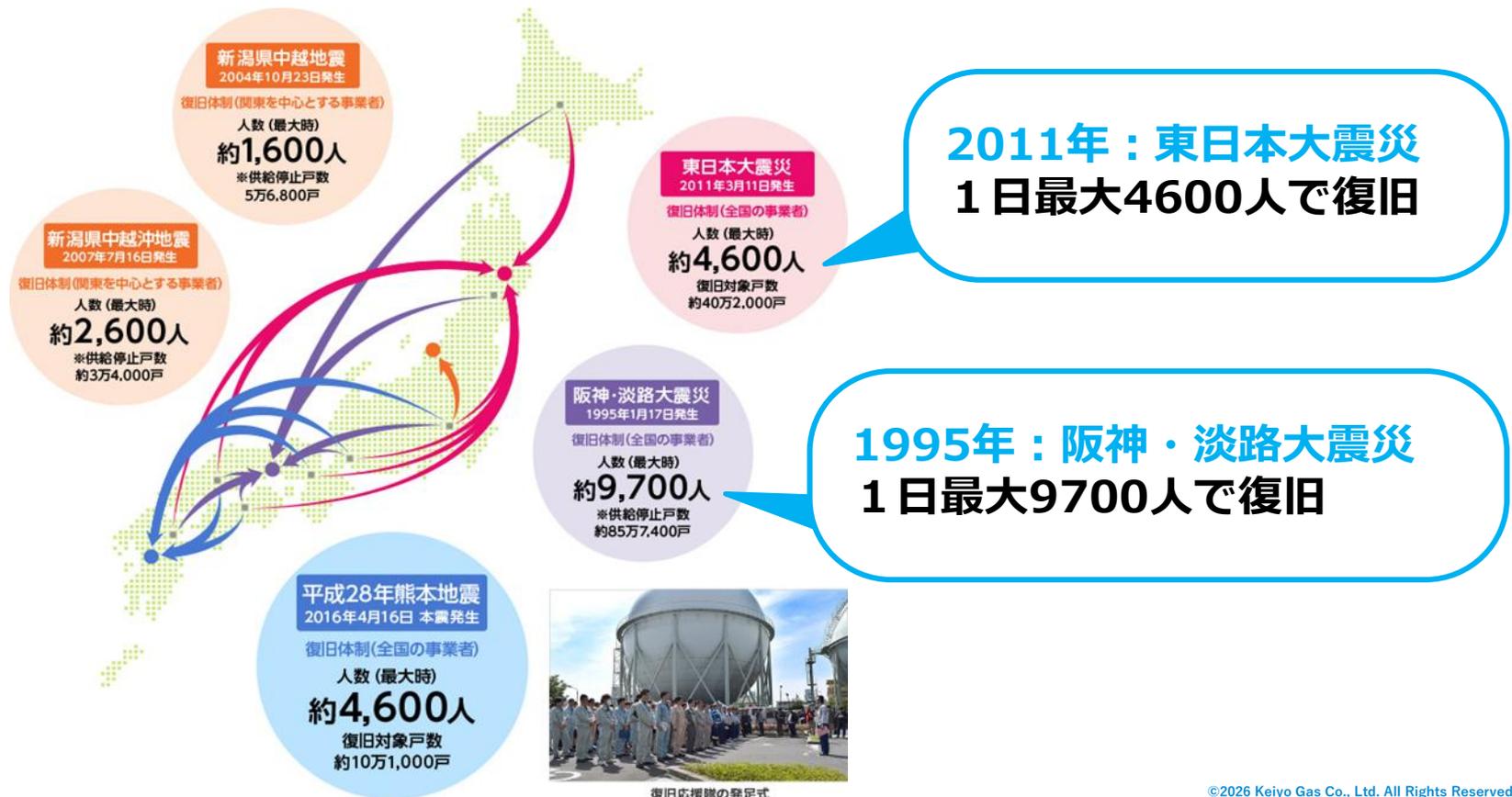
低圧導管網を36ブロックに分割。
遠隔による低圧供給停止の最小単位ブロック。

Sブロック

Mブロックをさらに細分化。
復旧作業時や緊急時の導管網のブロック化にも利用。

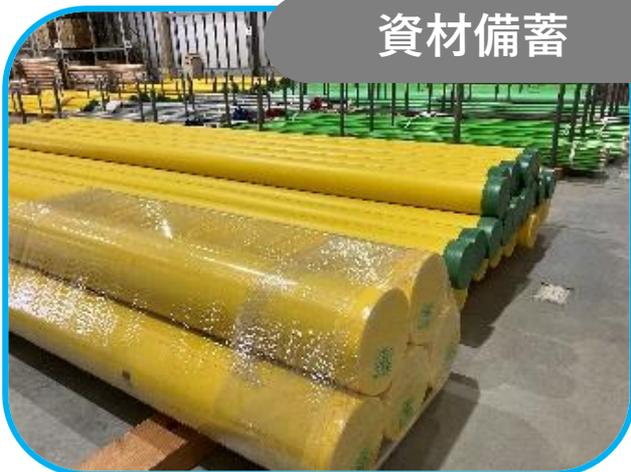
復旧対策：ガス事業者間の復旧応援体制

早期復旧のため、全国のガス事業者間で復旧応援体制が整備



復旧対策：資材と設備の準備

資材備蓄



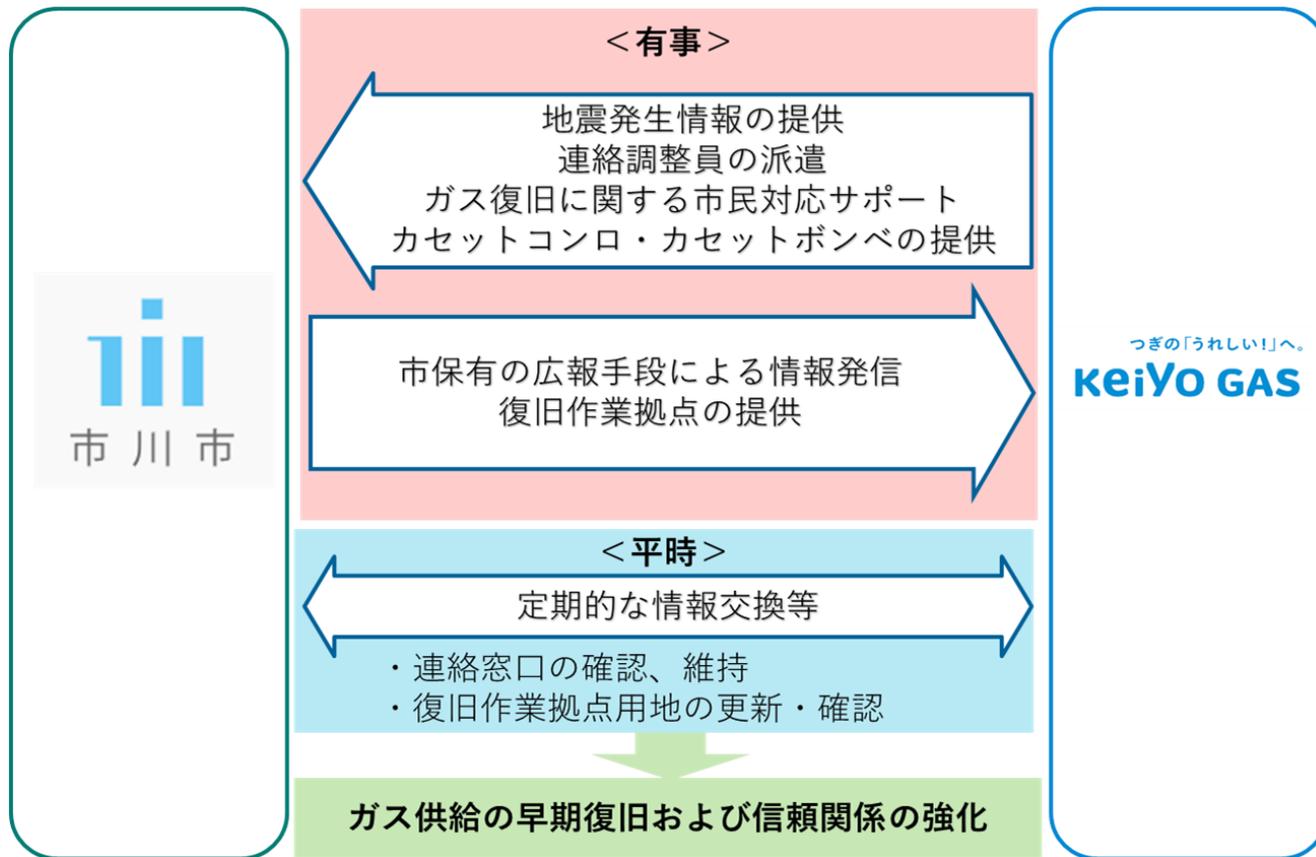
作業車両



自家用給油所



2026年1月 市川市・京葉ガス災害時相互連携協力協定締結



ガス供給の早期復旧に向け、引き続き取り組んでまいります。

つぎの「うれしい!」へ。

KeiYO GAS